

市報

2010 August

8

平成22年

No.770

ねまきょうだ



2~3

未来の行田を担う子供たちを守り育てる
社会の実現を目指して

4~5

第5次行田市総合振興計画の策定を進めています

未来の行田を担う子供たちを 守り育てる社会の実現を目指して



本市では、さまざまな子育て支援策を実施することで「子どもを生み育てやすいまちづくり」を推進しています。ここでは、最近の新たな取り組みを紹介いたします。

今後も、子育ての実態や保護者のニーズに耳を傾け、子育て支援策の充実と、質の高いサービスの提供に努めます。

子育て支援

◎地域子育て支援拠点施設の開設（平成19年度）

市内に3カ所の子育て支援センターと5カ所のつどいの広場を開設し、育児不安への相談指導や子育てサークルの育成など、地域におけるさまざまな子育て支援を行っています。

なお、今年度新たに子育て支援センターを1カ所開設する予定です。

「子育て支援センター」

和光保育園併設（なごみ）、太井保育園併設、児童センター併設（はすのこ）

「つどいの広場」

学童保育室併設（みなみ・ひがし・さくら・さきたま）、独立施設（みなみかわら）



子育て家庭の交流の場となっている子育て支援センター

◎民間保育所の待機児童対策および人材強化事業の実施（平成21年度）

保育所の入所待機児童ゼロを堅持するとともに、民間保育所の人材強化と若年層の雇用の安定化を図るため、民間保育所の定員拡大に伴う常勤保育士の新規雇用や、臨時保育士を正規雇用に転換した場合、その人件費の一部を補助しています。

◎民間保育所の定員拡大の促進（平成21・22年度）

定員を超える保育ニーズに対応するため、平成21年度に10人、平成22年度に10人の認可保育所の定員拡大を促進しました。

◎浮き城のまち・子育てジョイ・ハッピー事業の実施（平成21年度）

保護者の経済的負担の軽減と地域振興を図るため、第3子以降の児童の誕生を祝い、出産児童1人当たり3万6千円相当の「子育てハッピー券」を保護者に贈呈しています。子育ての楽しさを家族の皆さんで実感していただけるよう、出生児童が満1歳を迎えるまでの1年間、協賛店舗独自のお祝いセットを提供します。

保護者の就労支援

◎学童保育室の整備（平成19年度）

下忍学童保育室と荒木学童保育室を整備しました。現在、市内に12カ所の学童

行田市次世代育成支援 (後期計画)の策定

本市では平成17年3月に行田市次世代育成支援行動計画(前期計画)を策定し、次世代育成のための環境整備を図ってきました。このたび、平成22年度から平成26年度までの5年間を計画期間とし、『子どもと親が笑顔で安心してくらせるまち ぎょうだ』を基本理念とする後期計画を策定しました。

後期計画の目標事業量

本市における保育事業の充実のため、次のとおり数値目標を設定しました。今後、本市の児童数や保育ニーズなどを踏まえながら、目標の達成に努めます。

事業名	実績 【平成20年度】	目標 【平成26年度】
通常保育事業	1,257人	1,340人
延長保育事業	5カ所	8カ所
トワイライトステイ事業	2カ所	2カ所
病児・病後児保育事業 (延べ利用日数)	1カ所	2カ所 (476日)
放課後児童健全育成事業 (定員数)	12カ所 (510人)	14カ所 (645人)
地域子育て支援拠点事業 (ひろば型、センター型、児童館型)	8カ所	9カ所
一時預かり事業 (延べ利用日数)	1カ所	1カ所 (298日)
ショートステイ事業	2カ所	2カ所
ファミリー・サポート・センター事業 (延べ利用人数)	1カ所 (768人)	1カ所 (800人)
家庭保育室の運営事業 (1カ月当たりの利用人数)	2カ所 (41人)	2カ所 (50人)

◎後期計画の基本的視点

- 1 子どもの視点を大切にし、社会性の向上や自立を支援します。
- 2 子育てにともなうよろこびが実感できるよう支援します。
- 3 地域で、子育て家庭を支えあえるよう支援します。

保育室があり、放課後児童の健全育成と保護者の就労支援を行っています。

◎学童保育室の定員の拡大(平成21・22年度)

共働き家庭の増加による学童保育室の需用増に対応するため、平成21年度は50人、平成22年度には37人の定員拡大を行い、受け入れ態勢の充実を図っています。

また、平成22年度には小学4年生の児童の受け入れを行うなど、保育ニーズに対応した柔軟な運営に努めています。

◎学童保育室送迎支援事業の実施(平成21年度)

ファミリー・サポート・センターの会員間による送迎支援を活用し、学童保育室の入室待機児童を受け入れ可能な学区外の学童保育室に送り届けるための費用を市が全額負担することにより、入室待機児童の解消と学童保育室未設置学区の児童に対する公平性の保持に努めています。

子ども医療費の拡大

◎子ども医療費の拡大(平成20年度)

平成20年4月から通院については中学校就学前までに拡大し、保護者の経済的負担の軽減を図っています。今後も命を守る施策を推進します。

安心・安全な施設の推進

◎AEDの設置(平成20年度)

万が一に備え、主たる利用者が子どもである児童センターやつどいの広場、学童保育室など17施設にAEDを設置しました。

◎児童センター遊具の更新(平成21年度)

安心して児童センターを利用していただくため、老朽化した遊具の更新を行いました。今後も室内遊具の充実を図り、利用者層の拡大にも取り組みます。



新しくなった児童センターの遊具

◎児童センタートイレなどの改修(平成22年度)

利用者の利便性の向上を図るため、和式から洋式へのトイレ改修や幼児用トイレの整備、スロープの新設などの整備を行います。

▼問い合わせ 子育て支援課子育て支援担当(内線292)

総合振興計画とは、本市のまちづくりのビジョンを明らかにして、それを実現するための施策を体系的に示した重要な計画です。計画の策定にあたっては、「市民意識調査」や「ぎょうだ夢づくり会議」などで、市民の皆さんからいただいた意見を十分に踏まえながら庁内で検討を重ねてきました。

このたび、今後のまちづくりの枠組みを示す基本構想の原案がまとまり、市民の代表によって構成される「総合振興計画審議会」に諮問しましたので、その概要をお知らせします。

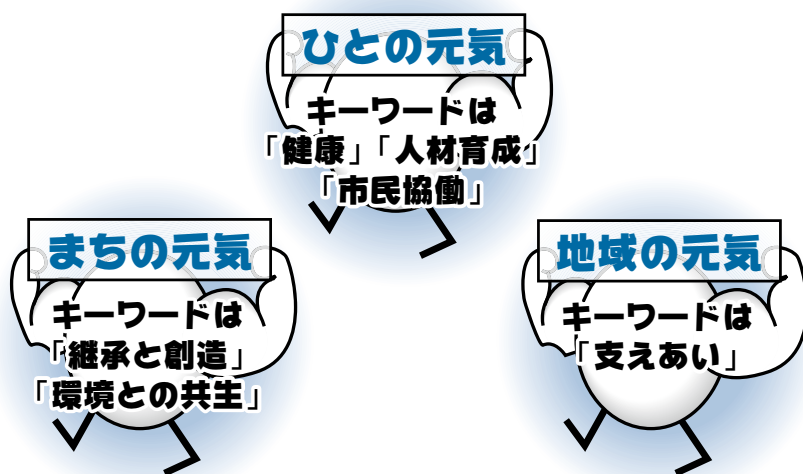


基本構想（原案）

まちづくりの基本理念

3つの“元気”を柱とした基本理念とそれぞれのキーワードを定め、目指すべきまちづくりの方向を市民と行政が共有することで、協働のまちづくりを進めます。

『ひとの元気・地域の元気・まちの元気』



目指すべき将来像

『古代から未来へ』

夢をつなぐまち ぎょうだ

埼玉県名発祥の地である本市は、古代から続く悠久の時の流れとともに、豊かな自然と輝かしい歴史、そして薫り高い文化をはぐくんできました。

こうした先人から受け継いだまちの“財産”に誇りを持ち、守り、継承し、また、市民と行政との創意工夫によるまちづくりを進めることで、未来の市民へ夢をつなぎ、活力と希望に満ちたまちを目指します。

市では、平成23年度から平成32年度までを計画期間とする第5次行田市総合振興計画を策定しています。

第5次行田市総合振興計画の
策定を進めています

将来つしーム

本計画では、本市で活動するすべての人々を活力あふれるまちづくりの担い手とみなした「まちづくり人口」の目標を新たに設定します。まちづくり人口とは、本市に住む人だけでなく、訪れる人、働く人、学ぶ人すべてを含めて、まちの活力創出の力となる人口を意味しています。

これらすべての人が活躍できるまちづくりを進めることを目標に、まちづくり人口10万人の達成を目指します。

施策の大綱

将来像を実現するために、まちづくりの基本理念を踏まえた8つの大綱を柱として、各種政策に取り組みます。

【将来像】

『古代から未来へ 夢をつなぐまち ぎょうだ』

将来像の実現を目指す

信頼 (行財政運営)
「市民の期待にこたえる信頼のまちづくり」

ふれあい (コミュニティ)
「支え合い、元気に暮らせる
ふれあいのまちづくり」

はぐくみ (教育・文化・芸術)
「未来をひろく人材と
文化をはぐくむまちづくり」

安心・安全 (危機管理)
「安心と安全に支えられたまちづくり」

にぎわい (産業・経済・観光)
「活気と活力に満ちた
にぎわいのあるまちづくり」

うるおい (環境)
「豊かな自然と共生した
うるおいのあるまちづくり」

快適 (都市基盤)
「生活基盤が充実した
便利で快適なまちづくり」

やすらぎ (保健・福祉・医療)
「だれもが健やかで幸せに暮らせるまちづくり」

【基本理念】

『ひとの元気・地域の元気・まちの元気』

大綱における各分野の施策を示す「基本計画」についても策定を進めています。皆さんの声を反映させた計画にするため、ご意見をお聴かせください。

▶ 問い合わせ 企画政策課企画担当 (内線309)

差別のない明るい人権尊重社会を目指す

8月は「差別を許さない

市民運動推進強調月間」です

市民一人ひとりが人権問題を正しく理解し、「あらゆる差別を許さない」という意識を高め、差別の根本的解消を目指すため、次の啓発事業を実施しています。

人権標語の募集・活用

市内小・中学校の児童・生徒を対象として、人権標語を募集しています。子供たちは、素直で純粋な感性を持って、人権の大切さを表した標語を作っています。標語の募集により、子供たち自身の人権意識を高め、自己啓発の役目も果たしています。

なお、優秀作品については人権標語を印刷し、市内全世帯と公共施設などに配布しています。また、最優秀作品については標語のたて看板を作成し、公民館などの施設に設置するなど、市民に向けた啓発活動を行っています。

人権 同和問題地区別研修会の開催

全市民を対象に、差別の根本的解決に向けた研修会を行っています。この研修会は、人権・同和問題についての理解、さらには問題認識の再確認を

する場として実施するものです。また、人権を尊重し、痛みの分かる人権の推進者を育てることも考え、継続して実施しています。

実施にあたっては、市内各地区の人権教育推進協議会、公民館、自治会、老人クラブなど、さまざまな団体の協力をいただき、開催しています。なお、各地域の研修期日などは、各地域公民館および自治会などに問い合わせください。また、市ホームページにも一覽を掲載していますので、ご覧ください。多くの皆さんに研修の主旨をご理解いただき、積極的に人権・同和問題地区別研修会へご参加くださいますようお願いいたします。

このほか、人権パンフレットを配布したり、市ホームページを活用したりしながら、あらゆる機会を通じて人権意識の高揚と誤った差別意識の一扫を図り、憲法で保障されたすべての人の人権が守られるよう、今後も啓発活動を行っていきます。

▼問い合わせ 人権推進課人権同和対策担当（内線221）

人権尊重社会をめざす県民運動

ヒューマンフェスタ2010さいたま

すべての県民が互いの人権を尊重しながら共に生きる社会を実現するため、県民総ぐるみで取り組む「人権尊重社会をめざす県民運動」の一環として、ヒューマンフェスタ2010さいたまを開催します。

▶日時 8月26日(木)午前10時～午後4時40分
▶場所 大宮ソニックシティ
(さいたま市大宮区桜木町1-7-5)

▶内容

【大ホール】

- 人権作文表彰・発表 (午後1時)
- 人権講演会：小錦八十吉さん(元大関) (午後2時)
- 木村弓ハートフルコンサート (午後3時30分) ほか

【小ホール】

- 講演会：松野明美さん (午前11時)
- ピアノ演奏 (午後1時) ほか

【国際会議室】(午前10時～午後4時)

- 人権啓発資料展示
- 人権相談コーナー開設 ほか

▶入場料 無料 ※事前申し込み不要(先着順)

▶問い合わせ 埼玉県人権推進課企画・総務担当

☎048-830-2255

「行田市民便利帳」共同発行の調印式を行いました



協定書を取り交わした工藤市長と株式会社サイネックス村田社長

市役所での各種手続きや施設案内などの行政情報をまとめた「行田市民便利帳」の発行に先立ち、7月8日に株式会社サイネックスと共同発行に関する協定書調印式を市役所で行いました。

従来の行政情報に加え、地域の情報や事業者の広告などが掲載される実用性の高い今回の行田市民便利帳の製作は、印刷から発行に要する経費を掲載する広告料で賄い、市の費用負担は伴わない官民協働事業として実施します。

この行田市民便利帳は、市内全域および転入者への配布を平成23年1月から予定しています。今後、行田市民便利帳に広告を掲載していただける市内事業者を募集するため、株式会社サイネックスが直接、事業者の皆さんに広告掲載のお願いに伺いますので、ご協力をお願いします。

▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当 (内線318)

「市長と語る対話集会」の参加者を募集します

「もし自分が市長だったら」という視点から、市政に対する意見・提言を寄せていただく「市長と語る対話集会」を開催します。

この集会は、自治会長をはじめとする各種団体の代表者の皆さんに呼びかけ、さらに公募の市民の皆さんの参加もいただき、対話方式で市長が直接意見・提言を伺うものです。

次の地区を対象に開催します。ぜひご参加ください。

▶開催日時・場所

地区	日時	場所
佐間	8月26日(木) 午後7時～8時30分	佐間公民館
下忍、埼玉	8月28日(土) 午後1時30分～3時	下忍公民館

- ▶対象 該当地区在住の方
- ▶申し込み 不要(直接会場へお越しください)
- ▶問い合わせ 広報広聴課広報広聴担当(内線318)

行財政改革審議官を委嘱しました

市民の視点での行財政改革を目的とし、業務改善の方策や事務事業のあり方について提言をいただくために設置している「行財政改革審議官」を、安住清美氏(藤原町)と中川由美子氏(門井町)に委嘱しました。

お二人には、市民サービスのさらなる向上のための調査・研究にご活躍いただきます。



中川由美子氏
(門井町)



安住 清美氏
(藤原町)

- ▶問い合わせ 企画政策課改革推進担当(内線308)

行田市電子申請・届出サービスが新しくなりました

電子申請利用拡大キャンペーンを実施します

行田市電子申請・届出サービスのシステムが7月1日から更新されました。

○行田市電子申請・届出サービス

インターネットを利用し、原則として24時間365日、申請・届出をすることができるサービスです。

埼玉県と県内市町は、共同でシステムを運用し、このサービスを提供しています。

システムが新しくなったため、新しい窓口へアクセスしてください。

<https://denshi.pref.saitama.lg.jp/>から行田市をクリックしてください。

○さらに使いやすく

画面が見やすくなり、ID・パスワード制が導入され仮登録が不要になるなど、さらに使いやすいシステムとなりました。

○申請などが簡単に

一部の申請手続きや申請書のダウンロードがパソコンから行えます。

○操作などを体験してもらうキャンペーンを実施

「電子申請・届出サービス」のリニューアルを記念し、さらに皆さんに役立つサービスとするため、アン

ケートを実施します。

アンケートにご協力いただいた方の中から抽選で150人に埼玉県とシステムを共同利用する市町が用意する「記念品」をプレゼントします。

- ▶募集期間 8月1日(日)～31日(火)

- ▶申し込み 市ホームページ(オンラインサービス内)の「電子申請利用拡大キャンペーン」からアクセスしてください。



皆さんの意見を参考にして、このシステムで申請・届出ができる種類を充実させていきます。

- ▶問い合わせ 広報広聴課情報担当(内線322)
ホームページ http://www.city.gyoda.lg.jp/11/05/11/densi_campaign.html

後期高齢者健康診査が 始まります

後期高齢者医療制度の被保険者の皆さんに、健康診査の受診券を発送しました。

健康診査は無料で、受診期間は8月から12月10日までです。医療機関に確認のうえ、今回送付した受診券および後期高齢者医療被保険者証を忘れずに持参して、受診してください。

なお、8月2日以降に75歳になる方が誕生日以降に受診される場合は、受診券整理番号が変更になりますので保険年金課へ問い合わせください。

▶**問い合わせ** 同課医療担当(内線226・227)



65歳から74歳の国民健康保険に加入している方へ 特定健診を受診してください

今年度に65歳から74歳になる方へ、特定健診の受診券を発送しました。受診期間は8月から12月10日までです。医療機関に確認のうえ、今回送付した受診券および行田市国民健康保険証を忘れずに持参して、受診してください。

また、8月2日以降に75歳になる方が誕生日以降に受診される場合は、受診券整理番号が変更になりますので保険年金課へ問い合わせください。

なお、65歳未満の方の受診期間は6月から9月までです。終了間際は組み合わせますので早めに受診してください。

特定健診を受診された方の中から抽選で10人の方に、行田商店共通商品券(1万円分)をプレゼントします。

- ▶**対象** 期間中に健診を済まされた方
- ▶**抽選** 平成23年3月末(予定)
- ▶**その他** 受診した時点で対象となりますので、応募の必要はありません。

▶**問い合わせ** 同課国保担当(内線271・272・273)

ご存じですか

児童扶養手当などの制度

制度の利用に際しては、それぞれ所得の制限がありますのでご注意ください。

■ 児童扶養手当

- ▶**対象** 次のいずれかに該当する子どもを育てている父母または養育者
 - 父母が婚姻を解消した子ども
 - 父または母が死亡した子ども
 - 父または母に一定の障害がある子ども
 - 父または母の生死が明らかでない子ども
 - その他(父または母が1年以上遺棄している子ども、父または母が1年以上拘禁されている子ども、母が婚姻によらないで妊娠した子どもなど)

※婚姻には、婚姻届を提出していないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある場合(内縁関係など)を含みます。
- ▶**注意** 次の場合は支給対象となりません。
 - 申請する方や子どもが日本国内に住所を有さないとき
 - 申請する方が公的年金を受けることができるとき
 - 子どもが父または母の死亡について支給される公的年金を受けることができるとき
 - 子どもが父または母に支給される公的年金の額の加算の対象となっているとき
 - 子どもが児童福祉施設などに入所しているとき

- ▶**支給期間** 子どもが18歳になった年度末(子どもが政令で定める障害があるときは20歳)まで
※手当の対象は申請を受け付けた翌月分から
- ▶**問い合わせ** 子育て支援課子育て支援担当(内線292)または子育て総合支援窓口☎556-2011

■ 特別児童扶養手当

- ▶**対象** 精神または身体に一定の障害がある20歳未満の子どもを育てている方
- ▶**注意** 次の場合は支給対象となりません。
 - 申請する方や子どもが日本国内に住所を有さないとき
 - 子どもが障害による公的年金を受けることができるとき
 - 子どもが児童福祉施設などに入所しているとき
- ▶**支給開始** 申請を受け付けた翌月分から
- ▶**問い合わせ** 子育て支援課子育て支援担当(内線292)または子育て総合支援窓口☎556-2011

■ ひとり親家庭等医療費支給

- ▶**対象** ひとり親家庭などで子どもを育てている方(養育者を含む)とその子ども
- ▶**内容** 医療費の一部を支給
- ▶**支給開始** 申請を受け付けた日から
- ▶**問い合わせ** 保険年金課医療担当(内線226)

認知症サポーター養成講座の 受講者を募集します

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り支援する応援者です（認知症の方の介護などに従事してもらうわけではありません）。

この応援者をひとりでも増やし、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目的とした認知症サポーター養成講座を開催します。下記日程で都合の良い日に受講してください。

日 時	場 所	担 当 包 括
8月26日(木) 午後1時30分	みらい	地域包括支援センター 壮幸会
8月27日(金) 午後1時30分	総合福祉会館 「やすらぎの里」	地域包括支援センター 緑風苑
10月19日(火) 午後1時30分	荒木公民館	地域包括支援センター まきば園
11月20日(土) 午後1時30分	みらい	地域包括支援センター 緑風苑

※受け付けは午後1時から、受講時間は約1時間半

- ▶**対 象** 認知症や高齢者の介護に関心のある方
- ▶**申し込み** 高齢者福祉課、各地域包括支援センターおよび各講座開催場所にある申込用紙に必要事項を記入のうえ、開催日の1週間前までに申し込みください。
- ▶**問い合わせ** 高齢者福祉課高齢福祉担当（内線278）
地域包括支援センター緑風苑
☎557-3611
地域包括支援センターまきば園
☎550-1777
地域包括支援センター壮幸会
☎552-1123

都市計画案の縦覧を行います

- ▶**内 容** 行田都市計画生産緑地地区（星河第10号・太井第25号）の変更について
- ▶**縦 覧 期 間** 8月26日(木)～9月8日(水) 午前8時30分～午後5時(土・日曜日を除く)
- ▶**縦 覧 場 所** まちづくり推進課

この都市計画案にご意見のある方は、意見書を提出することができます。

- ▶**意見書の提出** まちづくり推進課に用意してある意見書を8月26日(木)～9月8日(水)（必着）に、直接または郵送で同課へ提出してください。（〒361-8601 行田市本丸2-5）
※意見書を提出できる方は、市内在住の方または利害関係者です。
- ▶**問い合わせ** 同課計画担当（内線355・359）

入院時の医療費と食事代の窓口負担額が 減額されます

国民健康保険被保険者証をお持ちの方

国民健康保険に加入している70歳未満の方が入院したとき、事前に申請すると「国民健康保険限度額適用認定証」が交付され、入院時の1カ月の医療費の負担が自己負担限度額までとなります。また、世帯主とその世帯の国民健康保険被保険者全員が市民税非課税の場合（市民税非課税世帯）には、入院時の食事代が軽減される「限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

ただし、国民健康保険税の滞納がある世帯の被保険者には、これらの認定証の交付はできませんが、市民税非課税世帯の被保険者には、食事代のみ軽減される「標準負担額減額認定証」を交付します。

▶**申請に必要なもの** 国民健康保険被保険者証、印鑑

後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方

後期高齢者医療被保険者で市民税非課税世帯に属している方は、申請により入院時の1カ月の医療費の負担が自己負担限度額までとなり、食事代が軽減される「後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証」が交付されます。

▶**申請に必要なもの** 後期高齢者医療被保険者証、印鑑

問い合わせ

国民健康保険については
保険年金課国保担当（内
線271・272・273）
後期高齢者医療につい
ては保険年金課医療担当
（内線226・227）



再加入の非自発的離職者も 国民健康保険税の軽減が受けられます

これまで、倒産・解雇、雇い止めなどにより離職された方で国民健康保険税の軽減を受けていた方が、会社などの保険に加入し、いったん国民健康保険を脱退すると、再び国民健康保険に加入しても軽減は受けられませんでした。

このたび、この適用が見直され、再び国民健康保険に加入したとき、離職時に新たな雇用保険の受給資格が生じていなければ、前回離職時の保険税軽減対象期間が適用されるようになりました。該当する方は、再度、雇用保険受給資格者証を持参し、保険年金課に申し出てください。なお、この適用は平成22年4月の制度施行時にさかのぼって実施されます。

▶**問い合わせ** 同課国保担当（内線271・272・273）

緊急雇用対策
(緊急雇用創出基金事業)により
臨時職員を募集します

業務内容	税務課収納担当におけるエクセルおよびワードでの入力業務など
募集人数	2人
雇用期間	9月1日(水)～12月31日(金)
勤務時間	午前8時30分～午後5時 週5日勤務(月～金曜日)
賃金	時給830円
その他	社会保険および雇用保険に加入

- ▶ 応募要件 民間会社(営利法人)の業績不振で任期満了前に解雇された、または任期満了により雇い止めとなったなどで、現在求職活動をしている方
- ▶ 応募方法 8月16日(月)までに履歴書(市販のもの)と離職証明書(発行されている場合)を人事課へ持参してください。
- ▶ 面接日 8月19日(木)を予定しています。
- ▶ 採用決定 面接のうえ採否を決定します。
- ▶ 問い合わせ 税務課収納担当(内線237)または人事課人事給与担当(内線207)

優良運転者を
表彰します



- ▶ 受付期間 9月1日(水)～30日(木)(土・日曜日、祝日を除く)
- ▶ 表彰基準 ①運転経験5年以上を有し、常に安全運転を心掛け、他の運転者の規範と認められる方 ②過去5年間、10年間、15年間、20年間、25年間、30年間、35年間に分けて無事故、無違反の運転者
- ▶ 資格要件 ①行田交通安全協会に入会している方 ②平成17年10月以降、優良運転者として行田警察署・同協会の表彰を受けていない方
- ▶ 申請方法 同協会事務局にある申請用紙および無事故・無違反証明交付申請書に必要事項を記入のうえ、運転免許証、認め印、同協会会員証、無事故・無違反証明書交付手数料630円を同協会事務局へ持参してください。
- ▶ 表彰 受賞者には後日表彰式の期日を通知します。※表彰式は10月下旬を予定
- ▶ 申請・問い合わせ 同協会事務局(行田警察署内) ☎555-1112

浮き城先生を募集します(第1次)

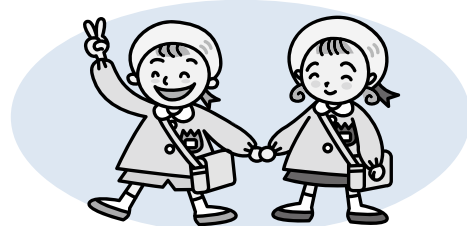
市では、少人数学級実施のため、子どもが好きで教えるのが大好きな先生を募集します。

- ▶ 募集人員 市内の小学校に常勤する教諭…若干名
※中学校教員の募集は、11月1日(月)から配布予定の第2次募集要項でお知らせします。
- ▶ 募集要件 小学校の教員免許状をお持ちの方(平成23年3月31日までに当該免許を取得見込みの方も可)で、昭和50年4月2日以降に生まれた方
- ▶ 募集要項 市ホームページよりダウンロードしてください(8月3日(火)から可能)。また、学校教育課(産業文化会館3階)および人事課(市役所2階)で配布します。郵送希望の場合は120円切手を貼り、あて先を明記した返信用の角型2号封筒を同封のうえ、学校教育課(〒361-0052 行田市本丸2-20)までお送りください。
- ▶ 願書締切 【窓口受付】10月8日(金)午後5時まで
【郵送受付】10月9日(土)消印有効
- ▶ 採用試験 【1次試験】10月24日(日)
【2次試験】平成23年1月15日(土)
- ▶ 任用期間 平成23年度の1年間(再任用制度あり)
- ▶ 待遇 当市規定により、埼玉県費負担教職員と同程度の給与・手当を支給します。また、公立学校共済組合埼玉支部、(財)埼玉県教職員互助会に加入します。
- ▶ 申し込み・問い合わせ 同課学校教育改革担当 ☎556-8316

幼稚園就園奨励費を支給します

市では、幼稚園教育の一層の普及・充実ならびに保護者の負担を軽減するため、市内外の幼稚園へ通園しているお子さんがいる家庭に、市民税の課税額に応じて、保育料の一部を補助しています。

- ▶ 申請方法 幼稚園を通じて、申請してください。市内の幼稚園には調書を配布しています。市外の幼稚園へ通園している園児のいる家庭で、申請をしていない方はご連絡ください。
- ▶ 問い合わせ 教育総務課財務施設担当 ☎556-8311



男女共同参画講演会 ぎょうだ男女共同参画フォーラム2010

歌手としての活動はもちろん、司会や存在感のある演技力を生かし、多方面で活躍している湯原昌幸さんを講師にお迎えします。

- ▶日 時 10月9日(土) 午後1時30分開場 午後2時開演
- ▶場 所 「みらい」文化ホール
- ▶演 題 「人生半分・歌暦」
- ▶入 場 料 500円
- ▶入場券販売場所・販売期間

- ①V I V Aぎょうだおよび生活課 8月18日(水)～10月8日(金)
- ②各公民館および南河原支所 8月18日(水)～9月2日(木)
- ※V I V Aぎょうだ、公民館は月曜休館
生活課および南河原支所は土・日曜日、祝日を除く

- ▶そ の 他 手話通訳、ひととき保育(2歳以上の未就学児の保育・無料)を行います。
保育を希望される方は9月24日(金)までに申し込みください。(当日申し込み不可)
- ▶問い合わせ V I V Aぎょうだ ☎556-9301



STOP! 下水道に油を流さないで

下水道は自然環境や皆さんの生活環境をよりよくするための公共財産です。下水道に油を流すと、下水道管の中で固まって詰まり、悪臭の原因になります。

環境を守るため、皆さんのご理解、ご協力をお願いします。

【各家庭へのお願い】

- ・使い切る…残った油は熱いうちにこし器へ移し、いため物などで使い切りましょう。
- ・ふき取る…鍋や皿に付いた油汚れはふき取ってから洗いましょう。
- ・吸い取る…古い油は新聞紙などで吸い取り、燃やせるごみとして出しましょう。

【飲食店へのお願い】

家庭に比べ油の使用量が多い飲食店は、グリース阻集器(排水中の油を分離・貯留する装置)の設置をお願いします。

- ▶問い合わせ 下水道課普及促進担当 ☎564-0303

下水道事業受益者負担金の 納付をお忘れなく ～期限内納付にご協力を～

第1期納期限 8月27日(金)

期限内納付が困難な場合は、納付相談をご利用ください。また、負担金の納付には便利な口座振替をご利用ください。

- ▶問い合わせ 下水道課業務担当 ☎564-0303 (前谷1-1水道庁舎内)

「雑がみ」を資源物として回収します

市では、紙類を「新聞」「雑誌や箱類」「段ボール」「紙パック」に分別し、資源化を行っています。まだ多くのリサイクル可能な紙類が「燃やせるごみ」の中に含まれています。

燃やせるごみのさらなる減量化、資源化を図るため、9月から「雑がみ」の分別収集を開始しますので、ご協力をお願いします。

「雑がみ」とは

「雑がみ」とは、家庭で不要になったパンフレット、コピー用紙、包装紙、紙箱、紙袋などの紙全般のことをいいます。

「雑がみ」の分別

対象となるもの	各種包装紙、ティッシュ箱、菓子・レトルト食品の箱、ラップ・アルミホイルの箱、カレンダー、ノート、紙製ファイル、事務用紙、メモ用紙、カタログ・パンフレットなどの紙で名刺サイズ以上のもの ※いずれもセロハン、ビニールおよび金属部分を除いたもの
対象としないもの	汚れた紙、写真、感熱紙、カーボン紙など、紙コップなどのワックス加工紙、せっけん・洗剤の箱、シュレッダー紙、紙おむつ、使用済みティッシュペーパーなど ※燃やせるごみとして出してください

「雑がみ」の出し方

- ・雑誌と一緒にそろえて、ひもで十字に縛ってください。
- ・小さな雑がみは、紙袋に入れ、中身が出ないように口を折り、ひもで十字に縛ってください。
- ・ラップやトイレトペーパーの芯、菓子箱、ティッシュ箱などはつぶして出してください。

「雑がみ」の収集日

資源ごみの収集日に、地区の資源ごみ集積所へ出してください。

- ▶問い合わせ 環境課環境業務担当 ☎556-9530



平成22年10月1日に国勢調査を行います

家庭の省エネ生活をサポートします

埼玉県では、家庭の二酸化炭素の排出を削減するため、「家庭の省エネ診断」「省エネナビの貸し出し」を行っています。

①家庭の省エネ診断

電気・ガスの使用状況や使用機器などのアンケートをもとに、「省エネ診断書」を作成し、専任スタッフが家庭にお伺いして説明、省エネのアドバイスをします。

▶実施日 10月15日(金)までの月～金曜日

②省エネナビの貸し出し

省エネナビは、家庭の分電盤に測定器を取り付けることで、電気使用量をリアルタイムで表示できる機器です。さらに、コンセントに個別センサーを取り付ければテレビやエアコンなどの個別電気使用量を測定することができます。

▶貸出期間 平成23年2月28日(月)まで

▶申し込み(①②ともに)

県ホームページから所定の申込書をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、①は9月30日(木)までに、②は貸出期間中に郵送、FAX、Eメールのいずれかの方法で埼玉県環境部温暖化対策課【郵送】〒330-9301さいたま市浦和区高砂3-15-1【FAX】048-830-4777【Eメール】a3030-10@pref.saitama.lg.jp【県ホームページ】<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/nabishindan.html>

▶問い合わせ 同課☎048-830-3038



夏のごみゼロ運動を実施します

生活環境の美化ならびに市民の環境衛生意識の向上を図るため、全市民参加の市内一斉清掃(ごみゼロ運動)を行いますので、ご協力をお願いします。

▶実施日 8月8日(日)

※雨天などにより中止する場合は、午前6時30分に防災行政無線でお知らせします。

▶問い合わせ 環境課環境業務担当☎556-9530



たいひ 芝堆肥を無料でお分けします

埼玉県行田浄水場では、水づくりとともに環境問題にも取り組んでいます。環境やごみの資源化を考えると、場内で発生する刈り芝などを堆肥化し、「芝堆肥みのり」と名付けて無料でお分けします。

堆肥がなくなり次第終了しますので、事前に電話で堆肥の有無を確認してください。

▶日時 9月2日(木)から毎週火・木曜日(祝日を除く)午前9時～11時および午後1時～3時

▶場所 行田浄水場(小針1632)

▶条件 取りに来られる方(一人最大1立方メートル)

▶持ち物 堆肥を入れる袋など

▶その他 除草剤や農薬は使用していませんが、施肥などは使用者の判断でお願いします。

▶問い合わせ 県行田浄水場工務部工務第一担当☎559-3660(内線750)

不用品情報

市では、資源の有効利用とごみの減量化を図るため、不用になった家具や家電製品など、まだ使えるものの仲介を行う不用品登録制度を実施しています。(品物無料)
登録期間は3カ月です。現在登録されているものは次のとおりです。

◎さしあげます

▽アルトリコーダー ▽洋式用補助便座(子ども用) ▽アンテナ・チューナー(スカパー) ▽ベビーカー ▽スタッドレスタイヤ(14インチ・ホイール付) ▽食器戸棚 ▽和だんす ▽はしご ▽ハンディマッソージャー ▽冷蔵庫 ▽座いす ▽ポータブルトイレ

◎ゆずってください

▽インターホン(カラーモニター付) ▽子ども用たんす ▽自転車(大人用) ▽BSデジタルチューナー ▽デジタル対応テレビ ▽家庭用小型耕運機 ▽デジタル対応液晶テレビ ▽キッチン用カウンター ▽ナイトテーブル ▽電話機 ▽パソコン ▽湯沸かし器(プロパンガス用) ▽パソコン台 ▽DVDデッキ ▽活版印刷機 ▽子ども用一輪車 ▽ベビーベッド ▽刺しゅうマシン ▽ロックマシン ▽DVDレコーダー ▽いす ▽ピアノ ▽シーソー ▽扇風機(壁掛け用) ▽フードプロセッサ ▽ソニア ▽ベビーカー ▽エアポンプ ▽熱帯魚用水槽 ▽食卓テーブル(いす2脚) ▽凶鑑(子ども用) ▽CDラジカセ ▽製めん機 ▽ホームベーカリー ▽コーヒーメーカー ▽電気ブレード ▽電気ポット ▽ホットカーペット ▽2段ベッド ▽3段ベッド ▽足踏みマシン ▽犬小屋(室内用) 室外用 ▽犬用キャリーバッグ ▽パーベキューセット

▼問い合わせ 環境課環境業務担当☎556-9530

FAX 553-0792

北彩タウン情報

でかけませんか こないまち

羽生市

ムジナもん仲間たち 4コマまんがを募集

ムジナもん仲間たちの4コマまんがを募集しています。愉快なアイデアをお待ちしています。

- ▶ **応募方法** 市役所、市民プラザ、図書館、各公民館、産業文化ホール、パープル羽生、ワークヒルズ羽生で配布している応募用紙を使用し、11月2日(火)までに郵送してください。【郵送】〒348-0058 羽生市中央3-7-5 羽生市役所商工観光課(市民プラザ内) ※応募用紙は市のホームページからもダウンロードできます
- ▶ **発表賞** 平成23年1月上旬に入賞者へ通知
 - ・優秀作品12点(「広報はにゅう」に掲載、副賞:ムジナもんグッズセット)
 - ・入選作品30点(副賞:ムジナもん歯ブラシ)
- ▶ **その他** 応募作品の著作権は主催者に帰属し、作品は返却しません。
- ▶ **問い合わせ** 同課 ☎560-3111

加須市

オニバス・ホテイアオイが見ごろです

県内希少野生動植物種に指定されているオニバスは、鋭いとげのある葉が直径1メートル以上になり、水面に鮮やかな赤紫色のかれんな花を咲かせます。早朝に開花し、8月中旬から9月上旬までが見ごろです。

- ▶ **場所** オニバス自生地(北川辺総合支所から東へ1キロメートル)
 - ▶ **問い合わせ** 加須市北川辺総合支所環境経済課 ☎0280-61-1205
- 1.5ヘクタールの休耕田に薄紫色のホテイアオイが咲いています。水に浮かんだホテイアオイが、辺り一面に広がる景色をぜひお楽しみください。見ごろは8月ごろです。
- ▶ **場所** 道の駅「童謡のふる里おとね」周辺
 - ▶ **問い合わせ** 米米倶楽部 ☎0480-72-2111または加須市大利根総合支所環境経済課 ☎0480-72-1319

くらしの110番情報

廃品回収業者とのトラブルにご注意を

【事例1】

不用になった電気製品などを無料で回収するとアナウンスしながら巡回していた業者にパソコンとプリンタの回収を頼んだら2万円請求された。業者の態度に恐怖を感じて払ったが、無料と言っていたのに高額で納得できない。

【事例2】

「見積もり無料」のチラシを見て廃品回収業者に連絡して来てもらった。自転車とテーブルセットの処分を依頼したが、さらに業者は物置にあるほかの物品を物色し、「これは使えないし、邪魔だろう」と言いながら次々とトラックに積み込み、見積書も渡されず15万円も支払わされてしまった。

【問題点】

「無料回収」と称して、高額な請求をする悪質な廃品回収業者が後を絶ちません。また、見積書を出さずに、トラックに積み込んでしまっただけから高額な請求をするケースも増えています。

事例のように、業者は、タイピングよく自宅に来てくれたり、電話で簡単に依頼できたり、手軽に不用品を回収してくれます。その際、複数の業者から見積もりを取ったり、廃棄物処理法の許可業者か確認したりする人は少ないのではないのでしょうか。

このような消費者のライフサイクルに対する知識の不足が廃品回収業者とのトラブルとなってしまう原因の一つでもあります。

【アドバイス】

①粗大ごみや不用品の処分は、お住まいの市町村のルールに従って行ってください。粗大ごみに出せない家電製品やパソコンなどの処分方法について分からない場合は、市町村に確認してください。

②家電製品のうち、エアコン、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機は家電リサイクル法の適用になります。処分する場合は、購入した販売店または買い替えをする販売店に依頼するか、一般廃棄物収集運搬業許可業者に依頼してください。リサイクル料金や収集・運搬の費用が必要です。(メーカーの指定引取場所に自己搬入する方法もあります)

③一般廃棄物の収集・運搬は市町村の許可を受けた業者しか行えません。安易に廃品回収業者に処分を依頼することは、トラブルのもとになりやすいので注意が必要です。すべての廃品回収業者が許可を受けているとは限りませんので、許可業者かどうかは、お住まいの市町村に問い合わせてください。

④廃品回収業者が無料回収をうたっていても、回収時に料金を請求されるケースがあるので注意しましょう。

.....
 廃品回収業者とのトラブルでお困りの際は、お近くの消費生活相談窓口にお問い合わせください。

▼問い合わせ

埼玉県消費生活支援センター春日部
 ☎048-734-0999または
 生活課市民生活担当(内線2505)



つけましたか?住宅用火災警報器

子どもの健康

乳幼児健診

名 称 4カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診

そ の 他 転入されたお子さんで、前住所地で受診していない方は保健センターへご連絡ください。

BCG予防接種

①**受付日時** 8月26日(木)午後1時30分～2時20分
対 象 平成22年5月1日～15日生まれのお子さん

②**受付日時** 9月1日(水)午後1時30分～2時20分
対 象 平成22年5月16日～31日生まれのお子さん

①②とも対象児以外でまだ受けていないお子さん(6カ月未満)は、この機会に受けてください。

乳幼児相談 (要申し込み)

受付日時 9月9日(木)午前9時30分～11時30分
対 象 小学校入学前のお子さん

離乳食教室 (初期) (要申し込み)

受付日時 9月9日(木)午前10時15分～10時30分
対 象 平成22年3月15日～4月14日生まれのお子さんがいる方

離乳食教室 (中・後期) (要申し込み)

受付日時 9月8日(水)午前10時15分～10時30分
対 象 7カ月～11カ月のお子さんがいる方

※いずれも場所は保健センター



ひきこもり相談

日 時 9月1日、10月6日、11月10日、12月1日、平成23年1月5日、2月2日、3月2日の各水曜日 午後1時30分

場 所 加須保健所 (加須市南町5-15)

対 象 おおむね18歳以上のひきこもり状態にある本人およびその家族

申し込み 同所精神保健福祉担当
 ☎0480-61-1216

おとなの健康

健康相談 (申し込み不要)

日 時 9月14日(火)午前10時～11時
対 象 健康に関する相談をしたい方

糖尿病健康相談 (要申し込み)

日 時 9月14日(火)午前10時～11時
対 象 糖尿病について心配のある方

禁煙教室 (要申し込み)

日 時 9月14日(火)午前10時～11時
対 象 たばこをやめたい方

こころの相談 (要申し込み)

日 時 8月19日(木)
 ※時間は申し込みの際にお知らせします
対 象 いつも不安、夜眠れない、生活のリズムが乱れている、自分の性格や人間関係に悩んでいる、飲酒量が多くやめられないなど、こころに悩みのある方
そ の 他 随時、電話での相談もお受けします。

※いずれも場所は保健センター



休日急患診療



期 日	医療機関名
8月15日(日)	壮幸会行田総合病院
8月22日(日)	行田中央総合病院
8月29日(日)	壮幸会行田総合病院
9月5日(日)	行田中央総合病院
9月12日(日)	壮幸会行田総合病院

- ・診療科目……内科、小児科、外科
- ・診療時間……午前10時～午後5時
- *医療機関が変更されることがありますので、事前に問い合わせください。
- ・行田中央総合病院 ☎553-2000
- ・壮幸会行田総合病院 ☎552-1111
- ◇夜間などの急病やけがで受診できる医療機関を知りたいとき
- ・行田市消防署 ☎556-2090
- ・埼玉県救急医療情報センター ☎048-824-4199

◇埼玉県小児救急電話相談「#8000」

- ・県内どこからでも「#8000」をプッシュすると相談窓口につながります。(携帯電話可)
- ・相談時間 【月～土曜日】午後7時～11時
 【日曜日、祝日】午前9時～午後11時



市立図書館 開館時間
 午前9時30分～午後7時
 佐間3-24-7 (「みらい」内)
休館日
 8月2日(月)・3日(火)・9日(月)・16日(月)・23日(月)
 ・30日(月)・9月1日(水)・6日(月)・13日(月)
 TEL 556-4227
 FAX 555-3770
 ※休館中の図書の返却はブックポストをご利用ください

主な新着図書

- ・祭りの夜、川の向こう (吉来駿作)
- ・宇宙のしくみ 星空が語る (藤井旭)
- ・おばけのひやめし (ささきみお)
- ・ちいさなおうさま (三浦太郎)

おはなし会

- ▶日時 8月18日(水)午前10時30分～11時
- ▶対象 2、3歳児と保護者
- ▶内容 絵本、パネルシアターなど

- ▶日時 8月28日(土)午前11時
- ▶対象 幼児
- ▶内容 絵本や手遊びなど
- ▶主催 おはなしタンバリン

- ▶日時 9月4日(土)午後2時
- ▶対象 幼児・小学生
- ▶内容 絵本など
- ▶主催 おはなしの会

- ▶日時 9月11日(土)午後2時
- ▶対象 幼児・小学生
- ▶内容 絵本など
- ▶主催 おはなしポケット

※場所は、いずれも図書館おはなしのへや

読み語りの会

- ▶日時 9月10日(金)午前10時30分
- ▶場所 図書館ミーティングルーム
- ▶内容 絵本や紙芝居など
- ▶主催 おしゃべりインコの会

各種相談 (8月15日～9月15日)

相談	場所	日程	時間	問い合わせ
法律 (予約制)	産業文化会館 2階会議室	8月24日(火) ※次回9月28日(火)の予約は9月1日(火)から	午前9時～午後3時	生活課 (内線252)
行政	産業文化会館2階会議室	8月16日(月)、9月6日(月)	午後1時30分～3時30分	
結婚	VIVAぎょうだ	8月22日(日)、9月3日(金)	午前9時30分～11時30分 (受け付けは午前9時30分～11時)	
消費生活 多重債務	市役所	8月16日(月)・19日(木)・20日(金)・23日(月) ・26日(木)・27日(金)・30日(月)、9月2日(木)・ 3日(金)・6日(月)・9日(木)・10日(金)・13日(月)	午前9時30分～午後3時30分	
夫婦関係・DVなど (予約制)	VIVAぎょうだ	8月19日(木)・26日(木)、9月2日(木)・10日(金) ※市内在住の方対象の電話相談は8月21日(土)	午後1時～4時 (電話相談は午後1時～2時30分)	VIVAぎょうだ ☎556-9301
内職	市役所	8月17日(火)・20日(金)・24日(火)・27日(金)・ 31日(火)、9月3日(金)・7日(火)・10日(金)・14日(火)	午前10時～午後4時	商工観光課 (内線383)
人権	南河原隣保館	9月8日(水)	午後1時30分～3時30分	人権推進課(内線221)
税務	中央公民館 (「みらい」内)	8月17日(火)	午後1時30分～3時30分	関東信越税理士会行田支部 ☎554-1411
水道料金の休日納付	水道庁舎(前谷)	9月5日(日)	午前8時30分～正午	水道課 ☎553-0131
水道料金の夜間納付	水道庁舎(前谷)	8月17日(火)・24日(火)・31日(火)、 9月7日(火)・14日(火)	午後5時15分～7時	

定例子ども映画会

- ▶日時 8月21日(土) 午後2時
- ▶場所 映像ホール
- ▶題名 ながぐつをはいたねこ ほか(39分)、クーパ
王子の誘拐から身を守る大切な約束(12分)
- ▶定員 80人(先着順)
- ▶入場料 無料

ブックスタート

- 4カ月児健診に合わせ保健センターで絵本を配布します。
- ▶日時 8月17日(火)、9月3日(金)・14日(火)
午後1時受付開始
 - ▶持ち物 母子健康手帳

移動図書館巡回日程

北河原小	9月 7日(火)
須加小	9月 8日(水)
泉小	9月 9日(木)
埼玉小	9月10日(金)
北小	9月15日(水)

※変更となる場合があります

おじいちゃん おばあちゃんの玉てばこ

日	時	内容
8月 4日(水)	午後3時～3時30分	昔のくらしを体験しよう
8月11日(水)	午後3時～3時30分	わたしたちの町、行田を知ろう①
8月18日(水)	午後3時～3時30分	わたしたちの町、行田を知ろう②
8月25日(水)	午後3時～3時30分	昔の遊びを体験しよう

- ▶場所 図書館おはなしのへや
- ▶対象 幼児・小学校低学年の児童およびその保護者
- ▶参加費 無料

Cyoda City Photo Studio 写真館



「忍城おもてなし甲冑隊」結成

歴史小説「のぼうの城」の舞台にもなった忍城の武将たちに扮して、行田の魅力を全国にPRする「忍城おもてなし甲冑隊」が結成され、7月15日、市役所を訪問しました。

このPR隊は、行田市のイメージアップに向けたPR活動と市民のおもてなし意識の向上を図るため、忍城址・郷土博物館をはじめとする市内各所で、観光客との記念撮影を行うほか勇壮な剣舞パフォーマンスの披露など、さまざまな活動を行っていきます。

矢内さんが語る元気の源

7月1日、「みらい」文化ホールで第60回社会を明るくする運動行田地区大会が開催されました。

第1部の「心のリレー」広報ビデオ上映に続き、第2部では女流棋士であり行田市観光大使の矢内理絵子さんによる「元気になる思考力」と題した講演が行われました。矢内さんは、不平不満を言わないことや目標を定めてチャレンジし続けること、物事を好きになり楽しむことなど、将棋に取り組む心構えや普段の生活の中で意識している元気の源について語っていました。



親子でオリジナルの竹とんぼ作り

6月27日、第2回VIVAぎょうだまつりが男女共同参画推進センター「VIVAぎょうだ」で開催されました。

イベントの一つ「親子で竹とんぼ作り」では、親子で協力しながら竹を削ったりして2つとないオリジナル竹とんぼを作りました。このほか、行田市民大学教育グループによる紙芝居や行田市食生活改善推進員が作ったゼリーフライと米粉のマドレーヌの試食、元埼玉県教育長の竹内克好さんによる「子育て孫育て」と題した講演とハーモニカ演奏が行われ、多くの来場者がさまざまなイベントを楽しんでいました。



優雅な演奏にうっとり

7月12日、市役所でロビーコンサートが行われました。行田アンサンブル協会に所属する山田知世さんと櫻井慶喜さんによるバイオリンとチェロの演奏が行われ、披露された曲はクラシック音楽から聞き覚えのある映画の主題歌までさまざま。聴いていた方々は2人が奏でる優雅な音色に聞き入っていました。



催し盛りだくさん 行田蓮まつり

7月18日、古代蓮の里で第13回行田蓮まつりが開催されました。

今や行田を代表するイベントの一つになったこの祭り。今年は時間を延長して午後3時まで行われ、多くの人出でにぎわいました。

物産展や熱気球の試乗、金魚すくいなどの催しのほか、メインステージでは炎暑の中よさこいソーラン踊りなどのさまざまなステージイベントが行われ、来場者の注目を集めていました。



チーム一丸となって

6月26日、グリーンアリーナで第20回行田市綱引き大会が開催され、市内の小学生60チーム、614人が参加しました。

試合開始のホイッスルが鳴ると、家族や仲間から熱のこもった声援を受けた選手らは、チーム一丸となって勝利を目指し、「オーエス」と声を掛け合いながら、力を振り絞りました。手に汗握る熱戦が何試合も繰り広げられ、会場は熱気と興奮に包まれていました。

志茂田景樹さんが行田を満喫

7月16日、小説家の志茂田景樹さんが、古代蓮や田んぼアートを見学しに、行田市を訪問しました。

まず、市役所を訪れた志茂田さんは、工藤市長から来訪の歓迎を受けた後、古代蓮の里へ赴きました。志茂田さんは、蓮を間近に見て写真を撮ったり、展望タワーから田んぼアートを眺めたりと、旬を迎えた行田の観光名所を満喫しているようでした。



総合学習で青大豆を栽培

7月15日、見沼中学校の2年生が、学校東側の畑で、行田在来青大豆の種まきを行いました。

これは、総合的な学習のひとつとして昨年からはまった取り組みで、種をまき、収穫し、味わうという一連の体験を通して食育を推進するものです。秋には収穫した大豆を使って豆腐などを作る予定となっている生徒たちは、大豆の成長を楽しみにしながら種をまいていました。

いきいき 行田人

攻撃的なプレースタイルで 全国大会出場

木元 風哉さん（11歳・上池守）

今月紹介するのは、テニスで全国大会への出場を果たしている小学6年生の木元風哉さんです。
テニスが趣味というお父さんのラケットやボールが、幼少期の木元さんの身近な遊び道具となっていました。本格的にラケットを握るようになったのは、まだ幼稚園に通っていた6歳のころ。近所に同じ年ごろの男の子が少なく、スポーツを通してたくさんの方と友達をつくってほしいという両親の願いもあって、2つ上のお兄さんとともに、ジュニアテニスサークルへ通うようになりました。年齢も一番下で、体格も一番小さかったそうですが、負けん気は人一倍。「レベルに合わせたグループごとの練習で、お兄ちゃんが先に乗ったグループへ移ってしまったときは悔しかった」と話すように、小さなころから誰にも負けたくな



いという強い気持ちで備わっていたようです。

週2回だった練習は、2年生で週3回、3年生で週5回と増え、今では雨の日でもグリーンプレーナードレーニングをするなど、平日2〜3時間、休日には7時間もの練習に弱音を吐かず取り組んでいます。さらに朝練習として、総合公園でランニングと基礎トレーニングを行うなど、テニスへの情熱は日々膨らむ一方の木元さん。これまでのハードな練習が物語るかのように、試合でもその実力は十分に発揮されており、2年生のときに初出場した公認大会で、100人以上もの選手がいる中ベスト8に。5年生のときには「埼玉県ジュニアテニス選手権大会」および「埼玉県小学生テニス選手権大会」で共に4位に入賞し、関東大会への出場を決めました。そして、今年1月から立て続けに行われている3大会「全国選抜ジュニアテニス大会」・「全日本ジュニアテニス選手権大会」・「全国小学生テニス選手権大会」でも、県予選を突破。関東大会を経て全国大会出場を決めるなど、一目置かれる存在へと成長を遂げています。

まだ小学6年生でありながら、テニスに関する1年間の計画と目標を紙に書き出し、しっかりと前を見据える芯の強さと、攻撃的なプレースタイルは大人も顔負け。これからも、木元さんは自ら打ち立てた信念を胸に、熱意という名のボールを打ち込み続けます。

私の作品

俳句

中央 藤野 芳江

青梅ややがて美味しい食前酒

忍 伊藤 英子

黄熟の麦の光や赤城山

忍 岡田 修

手をかざす裸婦像の天燕くる

荒木 秋山 二郎

青梅や産毛にやどす雨のつが

下中条 梶原 銃司

人まばら古墳の朝の涼気かな

酒巻 風間ちま子

梅雨明けの棚田に映える夕日かな

北河原 小島 光子

光射す新緑の木々生き生きと

深水町 松岡 博

田一枚早苗の色に染まりけり

向町 佐藤 猶子

厨より嫁のハミング梅雨に入る

西新町 矢野 勝一

髪白し抱えし薔薇の赤きかな

中里 鯨 美智子

夏椿地に落ちてなお白き花

持田 伊藤 洋子

海の虹水平線の果つる迄

持田 丸山 麟一

梅雨空や逢えば高齢いとこ会

荒木 高沢よね子

村の色植田の風になつており

荒木 藤田 栄之

遠退くも昔の声や閑古鳥

(木島 斗川 監修)

『12カ月』(押し花絵)

細井 一江(犬塚)



◎皆さんの作品を募集しています。
◎俳句は毎月5日までにはがき・封書で広報広聴課へご応募ください。



飯田 天雅ちゃん (持田)
父・隆一さん 母・麻衣さん
平成21年8月22日生まれ
「健やかに兄弟仲良くなー!」



本山 大登ちゃん (血尾)
父・健太郎さん 母・裕子さん
平成21年8月23日生まれ
「康正にこころよく育つね」



江幡 美香ちゃん (押上町)
父・勝田さん 母・佐知子さん
平成21年8月16日生まれ
「心美しく健やかに育つてね」

はじ め ま し て



櫻井 仁心ちゃん (長野)
父・俊夫さん 母・千景さん
平成21年8月17日生まれ
「やさしい子になつてね」



吉田 航ちゃん (西新町)
父・賀裕さん 母・ゆかりさん
平成21年8月15日生まれ
「元氣いっぱい大きくなつてね」

平成21年10月生まれのお子さんを募集します

○8月31日(火)までに電話またはEメールで広報広聴課広報広聴担当(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。



○応募者多数の場合は、9月2日(木)午後1時30分から市役所203会議室で公開抽選を行います。

さわやか サークル

静 河 会

～心躍らす音を奏でて～

三味線には津軽・秋田・南部・民謡などさまざまなジャンルがありますが、同サークルは激しい弾き方をする津軽三味線と穏やかな弾き方をする秋田三味線を主に練習しています。結成当初、メンバーの皆さんはまったくの初心者で、ほとんどの方は三味線に触れたこともありませんでした。それでも神田さんの熱心で丁寧な指導のおかげで、現在は「りんご節」や「津軽甚句」など5曲も弾けるようになったそうです。自らの上達に喜びの表情を浮かべる一方で、現状に満足せず「もっと上手になりたい」と語るメ



文化祭で、指導者の神田静子さんが三味線の演奏を披露し、その力強い音色に魅了された方が中心となり結成されました。現在、毎月第1・2・4木曜日の午後6時から9時まで男女合わせて9人が南河原公民館で活動しています。

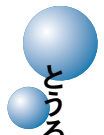
たった3本の弦から小気味よい音を響かせる三味線。今月は平成21年4月に結成された三味線サークル「静河会」を紹介します。

同サークルは平成20年11月に行われた南河原地区の文化祭で、指導者の神田静子さんが三味線の演奏を披露し、その力強い音色に魅了された方が中心となり結成されました。現在、毎月第1・2・4木曜日の午後6時から9時まで男女合わせて9人が南河原公民館で活動しています。

7月に特別養護老人ホームを慰問し、結成して初めて人前で演奏を披露した同サークル。現在の目標は「南河原音頭」を習得し、11月に行われる南河原地区の文化祭で披露することだそうです。三味線に情熱を注ぐ皆さんによって奏でられた躍動感溢れる音色は、聴く人々の心も躍らせることでしょう。

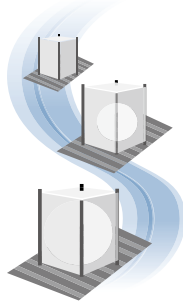
▼問い合わせ 佐々木宅 ☎5571-6226





とろろ流し納涼大会

▼日時 8月16日(月)午後6時～9時
▼場所 忍川翔栄橋周辺(秩父鉄道行田市駅北側)
▼その他 小型とろろ流しを1基800円で頒布します。また、行田音頭保存会による新行田音頭演舞を行います。
▼問い合わせ 行田市観光協会(商工観光課内・内線382)



男の料理

簡単レシピで本格的な味を

料理は初めてという方、料理の経験があっても自己流という方、幅広い料理に挑戦してみてください。

▼日時 ①9月4日(出)②10月24日(日)③11月6日(土) 午前9時30分～正午※1回のみ参加も可
▼場所 VIVAぎょうだ調理室
▼テーマ ①簡単中華 ②簡単イタリアン ③そば打ち
▼講師 ①②大神智子さん、秋山玉江さん ③長谷川好宏さん

▼対象 市内在住・在勤の男性
▼定員 20人(先着順)
▼参加費 ①②各500円 ③800円
▼持ち物 三角巾、エプロン、上履き
▼その他 保育(2歳以上の未就学児)を希望される方は8月24日(火)までにVIVAぎょうだへ申し込み・問い合わせ 8月17日(火)～28日(土)に直接または電話でVIVAぎょうだ ☎556-9301

行田市民卓球大会 夏季冠大会

▼日時 8月29日(日)午前9時
▼場所 グリーンアリーナ
▼種目 ①男子シングルス1部・2部 ②男子ダブルス ③女子シングルス1部・2部 ④女子ダブルス ⑤男・女シニアの部(50歳以上) ⑥中学生の部(男・女シングルス) ※一人2種目までとし、男子2部とシニアの重複は不可
▼対象 市内在住・在勤・在学の方
▼参加費 シングルス 一般・シニア600円、中・高校生500円 【ダブルス】一般1組800円、高校生1組500円※連盟未登録者各種目200円増し
▼主催 行田市体育協会、行田市卓球連盟
▼後援 行田市教育委員会

▼申し込み・問い合わせ 8月12日(木)午後7時までに郵送、電話、FAXのいずれかの方法で同連盟事務局田島直也(T361-0024 行田市小針25585) ☎5559-3789 FAX559-0714

第29回市長杯争奪 硬式テニス大会

▼日時 ①9月12日(日)②19日(日) 午前9時受付開始※雨天の場合は26日(日)
▼場所 総合公園テニスコート
▼種目 ①【男子】ダブルスA、シングルスB 【女子】ダブルスA、シングルスB ②【男子】シングルスA、ダブルスB 【女子】シングルスA、ダブルスB ※各種目Bクラスは初級クラス
▼参加費 シングルス1千500円、ダブルス2千円(1組)
▼主催 行田市テニス協会
▼申し込み 総合公園テニスコートクラブハウス内で配布している大会要領を参照
▼問い合わせ 競技委員長長山崎宅 ☎543-5527

不動産無料相談

▼日時 9月1日(水)午前9時～

正午
▼場所 生活課相談室
▼相談内容 不動産に関して分からないことやトラブルなど
▼問い合わせ (社)埼玉県宅地建物取引業協会北埼玉支部 ☎562-5900

行政書士無料相談会

▼日時 9月8日(水)午後1時～4時
▼場所 生活課相談室
▼相談内容 相続、遺言、示談書、交通事故、農地転用、許認可関係ほか日常生活の困り事
▼問い合わせ 埼玉県行政書士会埼玉支部(行田地区担当) 大庭 ☎554-2702

日本語指導講習会

▼日時 9月19日、10月17日の各日曜日 午後1時30分～3時30分
▼場所 商工センター
▼講師 森篤嗣さん(国立国語研究所)、松尾恭子さん(国際日本語普及協会)
▼定員 30人
▼参加無料
▼主催 行田にほんご教室
▼申し込み・問い合わせ 9月5日(日)までに三友宅 ☎554-9008または五幡宅 ☎556-5156

広告

行田商工祭・忍城時代
まつり鎧武者

▼日時 11月14日(日)午前10時～
正午ごろ ▼場所 バスターミ
ナル駐車場西側芝生広場ほか
▼内容 行田商工祭・忍城時代
まつりで、実行委員会が用意し
た鎧衣装を着ていただきます。
また、役柄によっては簡単なセ
リフがあります。▼その他
当日の着付けを手伝っていただ
けるボランティアも併せて募集
します。▼申し込み・問い合わ
せ 8月31日(火)までに行田商工
会議所 ☎556-4111

行田市漢字文化講演会

▼日時 8月28日(土)午後1時30
分～4時 ▼場所 商工セン
ター ▼内容 【第一部】進脩
塾素読教室発表会 【第二部】
村山吉廣さん(日本詩経学会会
長)による講演 ▼入場無料
▼主催 (財)忍郷友会、漢字文
化振興会 ▼後援 行田市、行
田市教育委員会ほか ▼問い合
わせ 田代宅 ☎556-
3728

行田ミニドキュメンタリー
映画祭

▼日時 9月18日(土)午後1時開
演 ▼場所 「みらい」文化ホー
ル ▼内容 行田足袋にかか
わってきた人々の思い出を中
心に、足袋文化や技術を未来
に残そうとする思いを追った
「ミシンの子守唄」(60分)と、
病気に負けず思いやりと希望
を胸に成長していく小児がん
の子供たちのヒューマンド
キュメンタリー(105分)
の2本立て ▼入場料 【前売
り券】1千300円【当日券】
1千500円(中学生以下は前

売り料金)▼チケット取り扱い
川島書店、忍書房、宮脇書店行
田店 ▼その他 1～5歳の託
児あり(1人1千200円※要
予約)、当日ボランティアも募
集中 ▼後援 行田市、行田市
教育委員会ほか ▼問い合わせ
カタリベフィルム茂木 ☎090
-7826-7714

行田市民
「おもしろものづくり教室」
画伯になろう

▼日時 8月21日(土)午後1時～
4時 ▼場所 ものづくり大学
▼内容 壁を塗る材料(左官材)
で壁掛け画などを作る。▼対
象 小学生以上 ▼定員 30人
▼参加費 500円 ▼申し込
み・問い合わせ 同大学 ☎
564-3895

大正琴演奏会

▼日時 9月5日(日)午後1時開
演 ▼場所 産業文化会館ホー
ル ▼曲目 百万本のバラ、真
夜中のギター、誰か故郷を想わ
ざる、恋のバカンスほか ▼入
場無料 ▼主催 行田市大正琴
連盟 ▼後援 行田市、行田市

教育委員会ほか ▼問い合わせ
同連盟大澤宅 ☎556-
5085

南川げんきクリニック
秋まつり

▼日時 9月11日(土)午後3時～
6時 ▼場所 南川げんきクリ
ニック駐車場(小見1401-
1) ▼内容 屋台(焼き鳥、フ
ランクフルト、焼きそば、チヨ
コバナナ、かき氷、綿あめ、輪
投げ、ヨーヨーなど)、デイズ
ニールランドチケット・高級フ
ルーツが当たるクイズ大会、盆
踊りなど ▼問い合わせ 同ク
リニック ☎554-8835

ampかわいいサミット
2010

▼日時 8月26日(木)～30日(月)午
前10時～午後6時(30日は午後
4時まで) ▼場所 八木橋百貨
店8階カトレアホール(熊谷市
仲町74) ▼内容 障がい者施設
で作られた製品などの販売、コ
ンサート、ワークショップなど
▼主催 ampかわいいサミッ
ト2010実行委員会 ▼問い
合わせ NPO法人C11ひこ
うせん ☎555-1100

広告

第50回下水道の日の集い

水循環センター見学会

▼日時 9月8日(火)～10日(金)
 【午前の部】午前10時～【午後の部】午後1時30分
 ▼場所 元荒川水循環センター(桶川市小針領家939)
 ▼対象 市内在住・在勤の方 ▼参加無料 ▼申し込み・問い合わせ 8月27日(金)までに電話で下水道課普及促進担当 ☎564-0303

作品コンクール標語

▼募集作品 下水道に関する事柄について、誰にでも親しみやすく感じる作品 ▼応募資格 県内在住・在勤・在学の方※連名による応募不可 ▼規格 はがき(またははがき大の用紙)に作品1点 ▼応募方法 9月17日(金)(必着)までに住所、氏名(ふりがな)、年齢(児童・生徒の場合は学校名、学年、組を記入)、電話番号を明記して、持参、郵送、Eメールのいずれかの方法で(埼玉県下水道公社経営企画課作品コンクール担当)【持参・郵送】〒338-0837さいたま市桜区田島7-2-23【Eメール】

master@saitama-swg.or.jp

▼問い合わせ 同公社経営企画課作品コンクール担当 ☎048-838-8585

平和啓発メッセージ入り

「花の種」の無料配布

▼日時 8月10日(火)午後2時
 ▼配布場所 「コミュニティセンター」みずしろギャラリーおよび生活課 ▼花の種類 金せん花、美女撫子、ポピー、白花カスミ草、八重矢車草(各100袋) ※無くなり次第終了 ▼問い合わせ 同課(内線251)

平和を願う原爆写真展

と平和の語り部

▼日時 ①8月9日(月)～19日(木) ②8月10日(火)午後2時～4時
 ▼場所 コミュニティセンターみずしろギャラリー ▼内容 ①原爆写真の展示 ②戦争体験者により戦争の悲惨さや平和の尊さについて語っていただきます ▼入場無料 ▼問い合わせ 生活課(内線251)

陶芸教室

▼日時 8月31日、9月7日・

14日、10月19日・26日、11月2

日の各火曜日 午後1時～3時(全6回) ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」2階交流創作室 ▼対象 市内在住の60歳以上で陶芸未経験または経験の少ない方 ▼定員 12人(未経験の方6人・経験の少ない方6人) ※未経験の方は先着順とし、経験の少ない方は経験歴の低い方を優先するため、結果を後日連絡します。 ▼参加費 800円 ▼持ち物 使い古しの歯ブラシ、タオル、エプロン ▼申し込み・問い合わせ 8月17日(火)午前9時～25日(水)午後5時に直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

手話講習会

(基礎レベルアップ)

▼日時 9月5日～平成23年3月20日の第1・3・5日曜日(1月2日を除く)午前10時～正午(全16回) ▼場所 総合福祉会館「やすらぎの里」第3研修室 ▼対象 手話講習会入門課程および基礎課程を修了した方、または同等の手話技術を有する方 ▼定員 20人(先着順) ▼受講

無料 ▼申し込み・問い合わせ 8月9日(月)から直接または電話で行田市社会福祉協議会 ☎557-5400

献血

▼日時 9月9日(木)午前10時～午後4時(正午～午後1時を除く) ▼場所 産業文化会館 ▼内容 全血献血 ▼持ち物 献血カード(お持ちの方) ▼主催 行田ライオンズクラブ ▼問い合わせ 埼玉県赤十字血液センター ☎042-985-6933

脱出ゲーム「DETE...」

▼日時 8月19日(木)午後1時30分 ▼場所 持田公民館ホール ▼内容 子供たちが作った仕掛けからクイズに答えて脱出しよう ▼参加費 3歳以上300円(デザート、ドリンク付き) ▼持ち物 皿、スプーン、フォーク、コップ ▼その他 未就学児は保護者同伴のこと ▼問い合わせ 行田おやこ劇場事務局 ☎090-3816-5374

広告

《住民基本台帳人口》

(財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団

申し込み・問い合わせ

- 産業文化会館 TEL556-6371 FAX556-6372
- 商工センター TEL553-0510 FAX553-2021
- 古代蓮会館 TEL559-0770 FAX559-0784
- グリーンアリーナ TEL553-3377 FAX553-0487

<http://www.ikiiki-zaidan.or.jp/index.html>



キッズマナーレッスン

▼日時 9月11日(土)午後1時～3時
▼場所 商工センター1201会議室
▼内容 日常の言葉使いや上手なあいさつのコツなどを学びます。
▼講師 (株)アロマグレース専任マナー講師
▼対象 小学生(3年生から6年生向け)
▼定員 20人(先着順)
▼参加費 500円
▼その他 保護者は無料で見学可
▼申し込み・問い合わせ 8月16日(月)午後2時～9月1日(水)に直接または電話で同センター



ベビーマッサージレッスン

▼日時 9月7日(火)午後1時～3時
▼場所 商工センター1202会議室
▼内容 ホババオイルを使った赤ちゃんマッサージを行う。
▼講師 (株)アロマグレースベビーマッサージインストラクター
▼対象 乳児とその保護者
▼定員 6組12人(先着順)
▼参加費 1組2千円
▼申し込み・問い合わせ 8月16日(月)午後2時～9月1日(水)に直接または電話で同センター



鬼太鼓座ツアア2010 「鬼魂一打」

▼日時 11月6日(土)午後3時30分開演
▼場所 産業文化会館ホール
▼内容 和太鼓集団「鬼太鼓座」の公演
▼入場料 全席指定3千500円
▼前売り開始・チケット取り扱い 9月4日(土)午前9時から産業文化会館ほか各プ



古代蓮の里 サマーキャンペーン

キャンペーン期間中に古代蓮会館に入館した小・中学生を対象にスタンプラリーを開催し、景品を贈呈します。



レイガイドで発売(電話受け付けは翌日午前10時から)



第24回行田市書道展

▼会期 8月18日(水)～30日(月)(火曜日休館)
▼午前9時～午後4時30分※入場は午後4時まで
▼場所 産業文化会館アートギャラリー
▼内容 行田市書道人連盟会員による作品展
▼入場無料

グリーンアリーナ いきいき&わくわくエンジョイスportsクラブ会員募集

クラブ名	日時	場所	内容	対象	会費	申し込み・問い合わせ
①ボクササイズヒーリングクラブ	毎週金曜日の午後7時30分～8時30分	グリーンアリーナ 剣道場ほか	ボクシングの動作を取り入れたエクササイズなどを行い、脂肪燃焼を促進させダイエット効果を高めます。	18歳以上の方	月額 2,000円	直接または電話でグリーンアリーナ ※先着順(定員になり次第、入会待ちとしての受付に変更となります) ☎553-3377
②SAファイトクラブ	毎週土曜日の午前10時～11時	グリーンアリーナ 剣道場ほか			月額 2,000円	
③ピラティスクラブ	毎週土曜日の午前11時10分～午後0時10分	グリーンアリーナ 柔道場ほか	バレエやヨガの要素を取り入れたエクササイズであるピラティスを行い、柔軟性や筋力、バランスなどを養うことで、美容や肩こり・腰痛などの改善に役立ちます。		月額 3,000円	

広告

大木家石蔵（孝子蔵）

今回紹介する近代化遺産は、城下町特有の鍵の手に曲がる新築通りに面した行田6-9に所在する大木家石蔵です。

この間口4間、奥行2間半の2階建ての石蔵は、孝子足袋の商標で知られた大木末吉商店が昭和26年（1951）に敷地の一番奥に棟上げた足袋蔵です。昭和25年（1950）に経済統制が解除されると、行田の足袋産業界は息を吹き返し、再び足袋蔵が建てられるようになりましたが、当時は木材が不足しており、こうした石蔵が多く建てられました。この石蔵は、木材が入り困難であったことから主柱を建てずに大谷石を積み上げて壁を造り、その上に屋根を乗せているのが特徴で、2階の窓も大谷石の引き戸になっています。そして、これまで紹介した足袋蔵と同様に、北側には一切窓が開けられていません。

なお、大木家は、間口が狭く奥行が長い短冊形の敷地に、店舗兼住宅、足袋工場、足袋蔵が1列に並び、南側に通路が表から裏へと通っています。これは、江戸時代の行田町（商人町）にある足袋商店の典型的な建物配置です。

戦後復興を遂げた足袋産業界は、昭和29年（1954）にナイロン靴下の量産が始まる

と、服装の洋装化と相まって失速して行きます。そして昭和32年（1957）を最後に、足袋蔵の建設は終息しました。この大木家の石蔵は、戦後の行田の足袋産業界の復興と最後の隆盛を物語る貴重な近代化遺産といえるでしょう。

今回まで30回にわたって足袋蔵を中心に行田市中心市街地の近代化遺産を紹介してきましたが、市内には中心市街地とその周辺だけで約130棟もの蔵（内約90棟が足袋蔵）が現存しています。これを無用の長物と考えるか、貴重な歴史資産と考えてまちづくりの有効に活用していくかで、行田のまちの未来は大きく変わっていくのではないのでしょうか。

（文化財保護課 中島洋一）



大木家石蔵（孝子蔵）

キラリ完気

No.89

麻婆豆腐

手軽に簡単 本格中華

豆腐は良質のたんぱく質を含み、血中コレステロールや中性脂肪を下げる成分が血管をしなやかに保ちます。また、更年期障害の予防・改善に役立つイソフラボンや骨を丈夫にするカルシウムも多く含み、消化の良い低カロリーな食品です。

ピリッと辛い辛味が食欲とスタミナをアップさせます。

材料（2人分）

木綿豆腐300g 豚ひき肉80g にら1/2束 A【しいたけ2枚、長ネギ50g、にんにく1/2片、ショウガ薄切り2枚】 サラダ油大さじ1 豆板醤小さじ1/2～1 ごま油適量 調味料【顆粒鶏がらだし小さじ1/2、オイスターソース大さじ1/2、みそ大さじ1/2、酒大さじ1、こしょう少々、水1カップ】 B【かたくり粉大さじ1、水大さじ2】

作り方

- ①豆腐は2cm角に切り、水気をきっておく。Aはみじん切り、にらは2cmの長さに切る。調味料は合わせ、Bで水溶きかたくり粉を作る。
- ②フライパンに油を熱してAをいため、豚ひき肉・豆板醤を加えていためる。
- ③②に調味料を加えて煮、さらに豆腐を加えてひと煮たちさせ、Bでとろみをつける。
- ④にらを加えてさっと混ぜ、ごま油を回しかけて火を止める。



栄養成分（1人分）

エネルギー 327kcal たんぱく質 19.6g 脂質 20.9g
炭水化物 13.0g 食塩相当量 1.9g カルシウム 210mg

（社）埼玉県栄養士会 行田・羽生の会

今月の表紙

7月18日、行田連まつりの会場で第1回軽トラ朝市が開催されました。これは地産地消活動の一環として行われているもので、軽トラックに積まれた新鮮な朝採りの農産物を買求めるたくさんの来場者でにぎわいました。

- 市報ぎょうだに掲載されているあなたの写真を差し上げます。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）まで。
- 市民の皆さんの市政に対するご意見をお待ちしています。
- 市報をカセットテープに録音したものを希望者宅にお届けします。ご希望の方は、広報広聴課広報広聴担当（内線318）までご連絡ください。



市報ぎょうだは再生紙を使用しています